

長岡技術科学大学 研究室見学会

日頃より当協会の運営にあたり、格別のご協力をいただき厚く御礼申し上げます。
このたび、技術部会では長岡技術科学大学の研究室見学会を下記のとおり計画いたしました。
この見学会を新たな事業展開のきっかけづくりの場として是非、ご活用ください。
多くの会員の皆様から参加いただきますようご案内いたします。

記

1. 開催日 平成30年7月9日(月)
2. 集合・解散場所 NICOテクノプラザ(長岡市新産 4-1-9)
3. スケジュール 15:30~15:40 受付(テクノプラザにて)
15:40 テクノプラザ出発(相乗りで)
(予定) 16:00~17:00 2研究室(以下)見学
(見学者が11名以上の場合は、2班に分けて各研究室を25分間ずつ見学)
17:10 解散(テクノプラザにて)

【研究室のご紹介】

■宮下幸雄 准教授(機械創造)研究室 [2班の時①16:00~16:25、②16:35~17:00、1班の時は①の時間]

材料強度・接合強度研究室

先端材料の破壊や疲労、接合材の強度信頼性評価、異種材料の接合、などの研究テーマに取り組んでいます。

疲労に関しては、国のプロジェクトで進めている、鉄道などの大型輸送機器への適用を目指した、マグネシウム合金およびその溶接材の疲労設計法について主に検討しています。

また、異材接合に関しては、鉄鋼材料とアルミニウム合金のような金属同士のほか、樹脂と金属の接合にも取り組んでいます。材料・プロセス(どうやって接合するか)と強度・評価(どのくらい強いのか、それをどのように評価)の両者を検討していることが特徴です。

見学では、2000度を超える高温環境、真空中、高湿度環境などで材料試験を行うための設備、走査電子顕微鏡で観察しながら疲労試験を行うことのできる設備などもご紹介いたします。

■鎌土重晴教授・中田大貴助教(機械創造)研究室 [1班の時は16:35~17:00]

先端軽金属材料研究室

超軽量なマグネシウム(密度は1.74kg/m³。鉄の1/4.5、アルミニウムの2/3)を輸送機器の構造部材として実用化するために研究開発を進めています。

本見学会では、マグネシウムの溶解・鋳造設備や押出し・圧延加工用の大型装置、企業と共同で開発したマグネシウム製の新幹線ダブルスキン構体モデル部材などをお見せします。

また、電子顕微鏡や結晶方位解析装置などの研究開発には欠くことのできない各種分析装置も紹介します。

4. 参加費 無料
5. 募集定員 16名(先着順。但し定員を超えた場合は1会員の参加者数を調整させていただきます。)
6. 申込み 6月28日(木)までに、FAX又はメール(info@naze.biz)にて申込みください。

参加申込票

NAZE事務局 行 (FAX: 42-8701, メール: info@naze.biz)

【連絡担当】 NAZE事務局:長部

(問合せ先電話:0258-42-8700)

長岡技術科学大学 研究室見学会

事業所名: _____

連絡先①(電話): _____

連絡先②: _____

(FAXまたはメールアドレスをご記入ください。)

氏名	お役職

ご記入いただいた情報は、NAZEからの連絡・情報提供のみに利用させていただきます。

注) 参加される場合、大学構内の駐車場スペースの関係で、NICOテクノプラザ(集合・解散場所)と大学構内との間の往復は、NAZEや参加者の車に相乗りで移動します。